

# KiKiの広場

2012年 4月 1日

cafe NO.18  
KiKi



春一番だけでなく、春二番・春三番か(い、意味が(^\_^;) )というくらい強い風がよく吹いた3月でしたが、ようやく例年より遅い桜もちらほら見られるようになり、待ち遠しかった春がやっと来ました。

「ヒストリア宇部」の『コミュニティ・カレッジ(略称コミカレ)』も、4月から第3期がスタートします。講座数も増え、今年度は年間通しての講座となっています。心と身体の健康にいいコミカレを、どうぞお楽しみください。

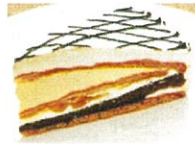


「今月のケーキ」・・・「シューバナナケーキ」 300円



## 4月の予定

10日(火)	休館日
--------	-----



バナナとカスタードクリームをシュー皮ではさみ、アクセントにほんのり苦いチョコレートを利かせた、年代を問わず楽しめる味わいです。



## 今月のお気に入り・・・「春に読みたい絵本」

～ 「わたしのワンピース」「おやゆびひめ」「おやゆびちーちゃん」「ぐいとぐらとくるいくら」「たんぽぽ」などなど ～



40年以上も前に出版されている「わたしのワンピース」。懐かし～と思われる方も多いのではないでしょうか? ずっと愛され続けているのは、わくわくする楽しいお話と素朴で優しいタッチの絵が、子どもの心をとらえて離さないのだと思います。春というと真っ先に思い浮かぶ絵本です。

また春の花のチューリップにそっくりな花から生まれてきたおやゆびひめ。いろいろな出版社からたくさんの絵本が出ていますが、今回その中から4冊紹介します。作者アンデルセンの母国デンマークの画家スペン・オートー、スウェーデンの絵本作家エルサ・ベスコフ、そして堀内誠一さんが描いた「おやゆびちーちゃん」、3つともヨーロッパの香りにあふれて、原作の雰囲気や忠実に伝えていていると思います。そして、いわさきちひろさん。美しく優しい絵に引き込まれます。訳も含めいろいろと見比べてみるのも面白いですよ。



## 今月の本棚・・・「林明子の世界」

～ 「はじめてのおつかい」「とんことり」「こんとあき」「おつきさまこんばんは」「おふろだいすき」などなど ～



あるインタビューで「抱きしめたくなる子どもを描きたい。」と言われていた林明子さん。本当に林さんの絵はどこまでも優しくあたたかく、子どもの小さな胸のハラハラもドキドキもワクワクも、そのまま伝わってきます。またストーリーとは関係のない隠し絵でも有名で、1つの作品の中だけでなく、いろいろな絵本の中に共通した人物やものたちが出てきます。「はじめてのおつかい」の主人公みいちゃんちの郵便受けの名前が「尾藤三」と書いてありますが、何て読むか知っていますか? 「おとうさん」と読むそうです。お父さんが全く登場していないので、ここで参加しているとのこと。ほんとに楽しいですね。

ちなみに「KiKi」の生みの親の角野栄子さんの「魔女の宅急便」の挿絵も林明子さんです。



## ほっとフレイク

Rちゃんという1歳半になる女の子とお母さんがご来店。自分でフォークを使ってケーキを食べながら「おいしいね!」とこちらを見てにっこり。あまりにもしっかりしてお話も上手なので驚いていると、お兄ちゃんが3人おられるとのこと。なるほどたくましくなるはずですね。食べた後は、隣のイベントホールをお散歩。私もおいでと呼ばれ手をつないでもらって(笑)ひとまわりしました。



クリームが指先につくと、さりげなくおしぼりできれいにふき取る姿は、とても1歳半とは思えない仕草でした。3歳まで「あー」とか「うー」とかしかしゃべらなかつたような気がする一人っ子の我が息子に比べると、いまだにRちゃんが1歳半だとは信じ難い思いです。環境ってすごいですね。(環境だけじゃないか。)(^\_^)